

# 3月定例会代表質問 (その1)



# 市長の公約実現への決意は

## 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党米原市議員  
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

2月26日会派代表質問が行われました。日本共産党米原市議団を代表して山脇議員が代表質問を行いました。代表質問は他会派の最後3番目に行いました。答弁の概要は次のとおりです。

### 山脇議員の代表質問

- 1、市長の公約実現への決意を問う
- 2、子どもの権利理念や公約外の施策について問う
- 3、市内の子どもの通学の安全確保を第一に
- 4、公務労働の勤務実態とその是正について問う

いります。

### 子どもの権利理念は

市長の基本政策における「不登校やひきこもり、ヤングケアラーなど困難を抱える子ども・若者への支援」は、非常に重要な施策であり、子どもたちの権利を尊重する観点からも大切な取り組みです。

### 平和への取り組みは

本市は、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴え、平成17年6月に「非核・平和都市宣言」を行いました。しかしながら、今、世界では、武力侵攻などで多くの尊い命が失われている惨状が続いております。

### 市長の決意を問う

(市長答弁) 私が掲げた基本政策すべてを着実に進めることで、住み続けたい米原が叶うものと考えております。御質問の「すべての人が安心して暮らせる米原」では、市民や地域に安心を届けるための施策を推進することとしており、令和7年度予算では、中学校体育館への空調設備の導入に取り組みすることいたしました。

子どもは単なる保護の対象ではなく、権利の主体として認識されるべきです。子どもにも対してその最善の利益を考慮することは、政策の根幹に据えるべき理念です。特に、困難を抱える子どもたちに対しては、子どもたちの声を聞き、ニーズに応じた支援を行うことが求められます。

子どもたちが自立した権利主体として成長できる環境を整えることが重要だと考えています。具体的には、教育や福祉、医療などの分野で、子どもたちの意見を尊重し、子どもたちが自らの権利を理解し、行使できるように支援を行うため、子どもや若者の意見を広く募集し、その内容や対応結果などについて、市の公式ウェブサイトで公開していく予定です。

3点目は決意とリーダーシップについてお答えします。私は、米原市の発展と市民の幸せを最優先に考え、市長としての責任と、市民の皆様からの信頼と期待に応えるため、市役所一丸となって、全力を尽くして、公約の実現に取り組みます。

また、地域社会全体で子どもたちを支える仕組みを構築し、子どもたちが安心して成長できる環境を提供することが、私たちの責任であること認識し、その認識のもと、米原市子ども計画を策定しているところです。このように、子どもを自立した権利主体として捉え、子どもたちの最善の利益を

第一に考えることは、私たちの施策の基本理念であり、今後もその実現に向けて努力してまいります。

本市は、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴え、平成17年6月に「非核・平和都市宣言」を行いました。しかしながら、今、世界では、武力侵攻などで多くの尊い命が失われている惨状が続いております。

また、本年は、戦後80年の節目の年を迎えます。戦争を知る世代が減少していく中、私たちは、戦争の悲惨さと戦争を二度と起こさないという強い信念を次の世代に伝えていかなければならないと考えております。このことから、本市では、昨年、戦争犠牲者への追悼と悲惨な事実を後世に引き継ぐ恒久平和を祈念するモニュメントとして「平和の礎」を建立し、令和6年度は、現地での平和祈念式典の開催や市内の小学校6年生および中学校3年生を対象に、平和学習に取り組む、戦争体験者との関わりさえないくなる世代に戦争の愚かさや悲しみ、平和の尊さを伝える取り組みを実施しました。今後も、この「平和の礎」や、戦争遺跡である岩脇の列車壕などの資源を活用し、子どもたちの平和学習を進めるとともに平和祈念式典の開催や広報等を通じて、広く市民の皆様さんに、戦争の悲惨さを伝え、恒久平和を訴える取り組みを継続します。

